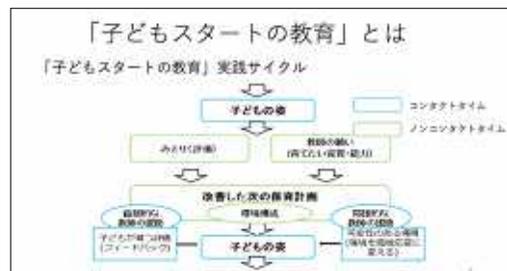


「育ちの履歴」から編成するカリキュラム 幼小一貫した資質・能力を育成する

カリキュラムは「育ちの履歴」。

教育実践から育てたい資質・能力を立ち上げ、視覚的にも理解しやすいよう写真を用いたカリキュラムをデザインしました。

また、「幼稚園」と「小学校」はそもそも文化が違う！ということを中心に、互いの教育で大切にしている「育てたい資質・能力」をつなぐことで幼小一貫したカリキュラムを提案しています。



「育ちの履歴」から編成するカリキュラム —幼小一貫した資質・能力を育成する—

- 1 | 今、必要とされるカリキュラム・マネジメント
- 2 | 「子どもスタートの教育」とは
- 3 | 「子どもスタートの教育」カリキュラム
—「育ちの履歴」から編成するにあたって
- 4 | 「子どもスタートの教育」デザイナー研究のこれから

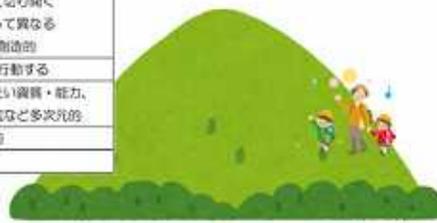
「子どもスタートの教育」デザインのコツ

- タネまき
- 子ども主体の生活を創る
- 遊びを創り出す培つくりの力を意識する
- 枠組みを捉え思考とつなぐ
- 余地を大切に残す
- 環境が誘導する行為可能性を生かす



「子どもスタートの教育」における教師の役割

目標	子どもと共に行動しながら決める
方法	・子どもと共に切り開く ・子どもによって異なる ・即興的で創造的
立ち位置	子どもと共に行動する
教師の準備	子ども理解、育てたい資質・能力、 山全体に関わる教材研究など多角的
教材	横断的
評価	多様



資質・能力を育成するカリキュラム構造

